

春闘アクション・総決起行動

県春闘共闘・神奈川労連・県大運動実行委員会の主催で、「春闘アクション・総決起行動」を、山下公園・石のステージで開催し、約 600 人が参加しました。

仙田・神奈川労連副議長（建設労連書記長）が開会あいさつを行い、「みんなの力で大幅賃上げを勝ちとろう」、「平和と国民生活を破壊する、腐った自民党政治をかえよう」と呼びかけました。

仲間のアピールに声援

闘う仲間のアピールとして、昨年 12 月にストライキを決行した東海大学教職員組合の中野・湘南支部長は、「ストライキの行動に、学生が何人も参加してくれたことが嬉しかった。私たちの声を雇用主や世間に届けるには、ストライキが一番」と訴え、今春闘でもともに闘う決意を述べました。

昨年 11 月と 12 月に医労連の組合を結成した、新しい仲間が登壇。「医療を守るために仲間と組合を結成した」、「声をあげれば変えられる」との訴えに、多くの激励の声援や拍手が送られました。2 つの新組合には、ノボリ旗とポールが贈られ、さっそく集会後のパレードでは旗がはためきました。

恐竜の着ぐるみ登場

ユーコープ労組の星さん（神奈川労連幹事）の進行で「最低賃金クイズ」が行われ、最賃の大幅引き上げも春闘で実現していくことが確認されました。

神奈川民医連からはマイナ保険証や介護保険の問題が訴えられ、建設労連の鈴木税対部長は、インボイス制度の理不尽さを告発し、中止させるとりくみを強めることを呼びかけました。

争議・裁判闘争を闘う仲間からの訴えでは、神奈川労連も支援している防大いじめ裁判の原告の父親や、福島原発訴訟、建設アスベスト訴訟、横浜自動車学校労組、福祉保育労・緑陽苑分会、JAL 解雇争議、JMITU 日本 IBM 支部から訴えがありました。

春闘川柳コンテストでは、128 作品が寄せられ、最優秀作品が発表されました。

パレードでは、「大幅賃上げ」や「最低賃金 1500 円以上」などをコールで市民にアピール。コンテストも行ったことから、各組織が自らの要求などを工夫して訴え、恐竜の着ぐるみで目立ちまくった建設労連が最優秀を獲得しました。

横福協労組の要求提出

各職場で春闘要求の提出が進むもと、医労連・横浜勤労者福祉狭隘労組（以下、横福協労組）でも2月29日に要求提出行動がおこなわれました。

横福協労組では、春闘に向け要求アンケートを集約してきました。それによれば、生活が「苦しい」「やや苦しい」が67%となり、職場の不満についての問いでは「賃金が安い」がトップで、次いで「人員が少ない」「仕事がきつい」が続きました。そして賃金の不足額については、平均で50,307円となり昨年の45,575円を大きく上回りました。いっぽう法人は、赤字経営であるものの現預金は一定の水準を確保しており、賃上げできる体力があることも明らかとなっています。

これらをうけ横福協労組では、単産の統一要求4万円を上回る5万円の要求を提出することとし、今春闘で必ずベアを勝ち取ろうと決意。そのためにストも構えて春闘に臨むこととしています。

横福協労組はこの日の要求提出に先がけて、昼休みの職場集会を実施。集会は2回に分けておこなわれ約70名が参加しました。

集会では、労組の要求と構えを改めて確認。あわせて日本医労連をはじめ関信地区から千葉、東京、群馬の各医労連の仲間も支援に駆けつけました。各支援者から「私たちもベアゼロはありえない春闘として闘っている、必ずベアを勝ち取ろう」「納得できない回答に対しては、私たちの権利であるストで闘いましょう」「医療の人手不足は社会にも影響を及ぼします。産業を守るためにも賃上げさせましょう」など激励しました。神奈川労連も参加し、地域から労働組合に対する期待が広がっていることから、地域にも運動を広げ賃上げを勝ち取ろうと訴えました。

集会後、横福協労組は駆けつけた支援者とともに要求を提出し、ベアを強く要求しました。

各職場で春闘要求の提出が進むもと、医労連・横浜勤労者福祉狭隘労組（以下、横福協労組）でも2月29日に要求提出行動がおこなわれました。

横福協労組では、春闘に向け要求アンケートを集約してきました。それによれば、生活が「苦しい」「やや苦しい」が67%となり、職場の不満についての問いでは「賃金が安い」がトップで、次いで「人員が少ない」「仕事がきつい」が続きました。そして賃金の不足額については、平均で50,307円となり昨年の45,575円を大きく上回りました。いっぽう法人は、赤字経営であるものの現預金は一定の水準を確保しており、賃上げできる体力があることも明らかとなっています。

これらをうけ横福協労組では、単産の統一要求4万円を上回る5万円の要求を提出することとし、今春闘で必ずベアを勝ち取ろうと決意。そのためにストも構えて春闘に臨むこととしています。

横福協労組はこの日の要求提出に先がけて、昼休みの職場集会を実施。集会は2回に分けておこなわれ約70名が参加しました。

集会では、労組の要求と構えを改めて確認。あわせて日本医労連をはじめ関信地区から千葉、東京、群馬の各医労連の仲間も支援に駆けつけました。各支援者から「私たちもベアゼロはありえない春闘として闘っている、必ずベアを勝ち取ろう」「納得できない回答に対しては、私たちの権利であるストで闘いましょう」「医療の人手不足は社会にも影響を及ぼします。産業を守るためにも賃上げさせましょう」など激励しました。神奈川労連も参加し、地域から労働組合に対する期待が広がっていることから、地域にも運動を広げ賃上げを勝ち取ろうと訴えました。

集会後、横福協労組は駆けつけた支援者とともに要求を提出し、ベアを強く要求しました。